

救いは 苦しみの中に

—聖書における苦難の意義—

2019年7月6日(土)

どなたでも
受講できます

13:00~15:00

直接会場にお越しください。

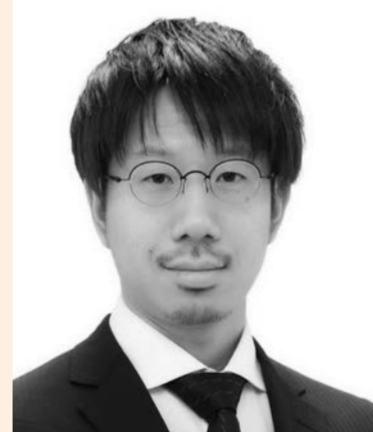
東北学院大学 土樋キャンパスホーイ記念館 3階 H302教室

苦難とは何か。聖書のみならず、キリスト教神学の中核的な問題である。旧・新約聖書において、人は苦難の中で逆説的に救済の根拠を見出すことを伝えている。また、苦難に意味を与えようとする試みは、しばしば神義論という形を取ってきた。第一講演では、「問い」という側面から、ヨブ記における苦難の問題を再考し、苦難に対する「答え」とは別の仕方の神義論について検討する。第二講演ではユダヤ・キリスト教の殉教文学を探り、苦難の教育的側面について理解を深める。果たして、救いは苦しみの中にあるのか？若手の旧・新約聖書研究者と共に考えたい。

講師紹介

第1講

田島 卓 (文学部総合人文学科講師)



ヨブ記における苦難と問い

1984年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻倫理学専門分野博士後期課程修了。博士(文学)。現在、本学文学部総合人文学科講師。主な著作は『エレミヤ書における罪責・復讐・赦免』(日本キリスト教団出版局)。



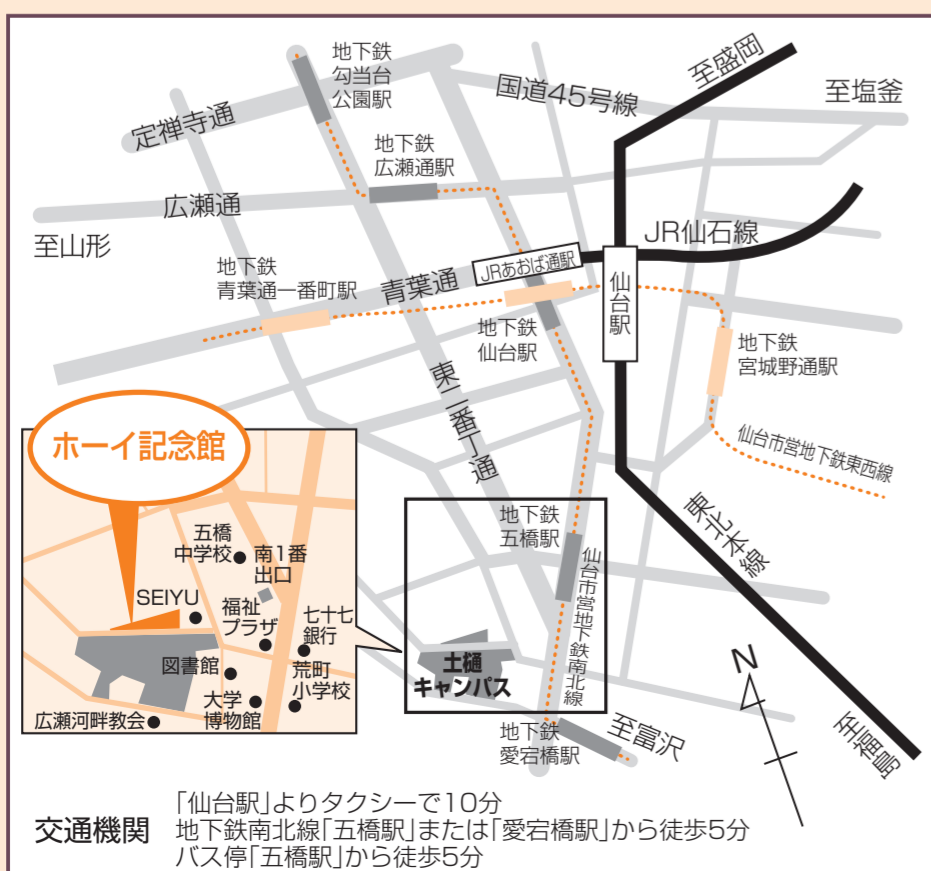
第2講

吉田 新 (文学部総合人文学科准教授)



ユダヤ・キリスト教殉教文学における苦難の意義

1978年生まれ。立教大学大学院卒。ハイデルベルク大学にて神学博士号取得。現在、本学文学部総合人文学科准教授。主な著作に「バプテスマのヨハネ」(教文館)、「Trauerarbeit im Urchristentum」(Vandenhoeck & Ruprecht)、編著「福音とは何か 聖書の福音から福音主義へ」など。



東北学院大学
土樋キャンパス
案内図

主催 東北学院大学 文学部総合人文学科

共催 東北学院大学研究ブランディング事業「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」

問い合わせ先 東北学院大学 研究機関事務課

TEL : 022-264-6401 FAX : 022-264-6530